

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(タービン建物の地震応答計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/11/11	NS2-添2-002-07	耐震(計算書)(VI-2-2-7)	タービン建物の地震応答計算書	P.48	フレーム内耐震壁の復元力特性の算定方法について説明すること。	タービン建物は内壁及び外壁の明確な区分がない複雑な平面形状となっており、RC造耐震壁は基本的にブランチ壁を有する断面となっていることを踏まえ、せん断スケルトン曲線の終局点は「JEA4601-1991 追補版」に基づき設定していることを記載しました。また、終局点を「保有水平耐力の計算方法(平成19年5月18日国交省告示594号第四)」に基づき算出したせん断スケルトン曲線を用いた場合の影響について別紙2-1「せん断スケルトン曲線の設定に関する影響検討」に示しました。	NS2-補-024-03 改 01「タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」P.別紙2-4(通し頁P.33) NS2-補-024-03 改 01「タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」別紙2-1(通し頁P.62~71)		
2	2022/11/11	NS2-補-024-03	補足説明資料	タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料	P.1199	床ばね非線形による機器・配管系の耐震性への影響に関して、一部の質点で床ばね非線形の応答が大きくなっていることについて、設計に用いている震度及びFRSとの大小関係を示して説明すること。	床ばね非線形による機器・配管系の耐震性への影響に関して、一部の質点で床ばね非線形の応答が大きくなっていることについて、設計に用いている震度及びFRSとの大小関係を整理した上で、床ばね非線形モデルの応答は概ね設計用条件に包絡されることから、機器・配管系の耐震性に与える影響はないことを記載しました。	NS2-補-024-03 改 01「タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」P.別紙4-13, 4-40, 4-41(通し頁P.95,122,123)	コメント移動	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(タービン建物の地震応答計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-補-024-03 改 01	タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料	P.6,11~22	グルーピングの考え方を記載しました。地震応答解析モデル区分図を記載しました。	2023/2/17	
2	NS2-補-024-03 改 01	タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料	P.7	表2-1の誘発上下動の項目を削除しました。	2023/2/17	
3	NS2-補-024-03 改 01	タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料	P.23~27	図の追加に伴い図番号を修正しました。	2023/2/17	
4	NS2-補-024-03 改 01	タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料	P.72~80	一部の要素で曲率が進んでいることについての考察を別紙2-2に整理しました。	2023/2/17	